

みちしるべ

日本福音ルーテル教会
九州教区女性会
第 20 期 107 号

発行者 平山美保
編集者 岡田レツ
印刷 平山印刷出版

主題聖句

あなたの道を主にまかせよ。／信頼せよ、主は計らい
あなたの正しさを光のように／あなたのための裁きを
真昼の光のように輝かせてくださる。 詩編 37 編 5～6 節

主題「主と共に歩む」

祈り合う

甲佐教会では 3 月 28 日から、健軍教会では 4 月 12 日から、感染症予防のため、それぞれ集う形での礼拝を休止し、ライブ配信により、各家庭などで礼拝するという形をとりました。教区内はもとより世界中の諸教会と同様、礼拝の新しい姿を模索し、その豊かな可能性を示されると共に、集うことを喜びとしていた教会にとつて辛抱の時でもありました。幸いにも 5 月 31 日、久しぶりに集うことができ、ペンテコステの意味を深く味わう特別な時とされました。

共に集うことができない間、せめて祈りを集めることで、心を寄せ合うことができなかつたと考えました。そこで、震災の時でも可憐



な姿を見せてくれた教会のハナミズキが今年も美しい姿を見せてくれていたことから、それをかたどったカードを配布し、それに祈りを書いていただき、教会へ集める「ハナミズキの祈り」を実施しました。わたしは届けられた祈りを声に出して祈り、時には色を塗り、礼拝堂の壁に貼り付ける幸せな役割を担いました。教会員とその家族、関係施設の利用者と職員のみなさんからたくさんの祈りが寄せられました。

それは同じ痛みや怖れを抱く世界の人の、感染症により命の危機にさらされる人、医療や福祉の現場で他者への奉仕を担う人、学校での勉強や遊ぶことを辛抱しなければ

牧師 安井 宣生
健軍教会
甲佐教会

ばならない人、生活の場や生活の資が失われる困難に直面する人、共に礼拝することを渴望する人、言葉にできない不安を抱えている人、表現する使命を自粛しなければならぬ人など、それぞれの存在が発する声とその一人ひとりに神の恵みを祈ることが編まれていくような、祈り合う交わりとなりました。

教会について、聖書は語ります。「確信と希望に満ちた誇りとを持ち続けるならば、わたしたちこそ神の家」(ヘブライ 3・6)と。

祈り合う交わりこそが教会である。満開のハナミズキの祈りはそう教えてくれています。



勇気を出しなさい

第20期九州教区女性会 会長 平山 美保

主の御名を讃美します。

この春は、新型コロナウイルスの影響が多くありました。困難な状況にある方を覚えます。心からお見舞い申し上げます。

*

2月22日、甲佐教会の礼拝に出席し、松井美津江さんの10歳の誕生日を教会の方と共に祝いしました。「恵まれて元気」と話してくださる松井さんを通して働かれる、不思議な御業に惹かれました。

3月15日、教区役員全員で阿久根教会の礼拝に出席しました。とても温かく迎えてくださり、礼拝後も交わりの時をもつことができました。そして嬉しいことに、今年から教区女性会

に3名の方が登録してくださいました。これから、また共に活動できる幸いと恵みに感謝いたします。

また、休会中の佐賀教会からも連盟会報と教区「みちしるべ」の購読申込をお受けしました。レインボーハウスさんには、これまでも協力をいただいています。主が導き、励ましてくださることを感謝します。

そして、病気で入院・加療していた高濱留都さんが6月8日、退院されました。多くの皆さまが祈ってくださいました。主は聞き届けられ、希望と喜びをもたらしてくださいました。これからもリハビリは続きますが、頑張っておられます。引き続き



3月15日 阿久根教会を訪問しました

お祈りいただければ幸いです。時に、「止まって」しまうわたしに、神さまは多くの恵みの業を示して「勇気を出しなさい」と送り出してくださいるので。安心して、歩き続けたいと思います。



日本福音ルーテル教会女性会連盟

第25回連盟総・大会

2021年6月8日(火)～9日(水)

ホテル 熊本テルサ 熊本市中央区水前寺公園 28-51
TEL 096-387-7777

熊本地震の際にいただいた
皆さまからの支援と祈りに感謝しながら
3年に1度の総・大会を熊本で開催します

役員に加わりました



書記
益田千恵子
(健軍)

リハビリ中の高濱留都さんに代わり、今期3人目の書記を仰せつかりました。心を込めて努めます。

100 歳のお誕生日おめでとう

甲佐教会 エリス正枝

2 月の礼拝後のお茶の時間に、松井美津江姉の満 100 歳のお誕生日をお祝いしました。

長い間、高校の英語教師を務められ、退職後もつい昨年の年末まで英会話教室で教え



松井美津江さん

ておられたので、わたしたちは松井先生、松井先生といいますが、教会のお母さんのような気持ちを込めてそう呼んでいます。

来月のことだけど、こうした方がいいじゃない？とか助言をくださるので、何につけ松井先生に相談したり、個人的な悩み事を聞いてもらったりと、お母さんのような方なのです。

*

松井姉は米国・コロラド州で生まれ育って、16 歳で両親の故郷である甲佐（熊本県上益城郡）に來られました。日本語の習得に大変な苦勞をなさり、女学校に進まれて間

もなく日米開戦。米国で生まれ育った姉は軍国主義の世の中にあって、たいへん辛い思いをなさったのではないのでしょうか。

終戦後、熊本地区の宣教の任を受けたエリス牧師が、当時九州学院に勤めておられた渡邊兄の願いにより

甲佐小学校の校庭で宣教のための映画会をしました。暗闇のなか、突然小さな女の子をおんぶした女性に、流暢な英語で話しかけられ、びっくりしたそうです。

この出会いから以後、エリス牧師の英語の説教原稿を翻訳してくださったり、渡邊家の家庭集會から始まった教会の歩みと共にいてくださって、お母さんの

ように甲佐教会をあたたく支えてきてくださり感謝申し上げます。

神様の御守りと御祝福が、松井先生の毎日のお暮しの上に豊かにありますように。

2 月 22 日礼拝後に 100 歳を祝いました
前列中央が松井美津江さん



共に
恵みを



20 期活動目標四つの柱 2
「高齢の会員と共に
恵みを分かち合う」

わたし
たちの

活動紹介

いつもの



宮崎教会



愛のつながりを大切に

わたしたち宮崎教会は、毎月第 1 日曜日の礼拝後に女性会例会を行っています。この 3 年ぐらい男性の参加が増えたので、信徒会のようにもあります。毎回 12 人から 15 人ぐらいが集い、食事を共にして楽しく交流や意見交換の時をもっています。8 月は「平和を考える会」としています。

また 20 年以上前から、市内の特別養護老人ホーム「ゴールデンレイク」を第 3 木曜日に訪問しています。この集いは宮崎教会・青島集会として礼拝を守っています。教会の方が入所されたり、デイサービスを利用されている方もおられたりして、ご縁があり交流が続いています。

季節にふさわしい紙芝居の読み聞かせをしたり、健康体操をして体を動かしたり、童謡を歌ったりしています。声を出すと生活に張りがあるので、高齢の方にとっては重要なことなのです。南里牧師在任中から、ずっとこの「つながり」を大切にしてきました。賜物を生かしながら愛を込めて、続けさせていただけることに感謝しています。今年は感染症対策で、まだ訪問できていませんが、皆さんが待っていて下さるので再開の日を心待ちにしています。

乙守アヤ子

甘木教会

置かれた場所で咲きなさい

宣教 100 年 (2017 年) を迎えた甘木教会の女性会は、老いも若きも寄り添い、支え合い、感謝の笑顔にあたたかさを感じます。

毎年行われるバザーは女性会の出番です。ちらし寿司やおでんを準備するかたわら、献品の値付けに会場設営など大忙しですが、それぞれのペースで和気あいあいと楽しく携わっています。昔、明け方までかかって、いなり寿司を作ったことや、バザーの収益で外れかかっていた玄関扉を修理したことなど苦労話も聞けるいい機会です。

新しいことにも積極的です。記念事業費の捻出にプリント T シャツや手提げバッグなどのグッズを作り、販売しました。自分たちもピンクや赤の T シャツを着て「似合うかしら」と若返っています。

40 代から 90 代まで幅広いメンバーは、それぞれが知恵を出し合い、導かれた教会という共同体の中、そして女性会という集いの中に神様の恵みを感じ、わたし自身もこの場所で小さくても咲き続けていきたいと祈っています。皆様に主の平安がありますように。

梶原 琴美

100 年記念の T シャツを着て 後ろ姿も



証 言

20 期活動目標四つの柱
4
「平和の問題に
目を向けよう」



平和って何？

玉名教会 坂本 陽子



平和という字は平らと和む
できています。辞書には
「戦争がなく、おだやかなこ
と」「安らかなこと」とあり
ました。

わたしは、こどもの頃、い
つも良い人でありたい、優し
い人になりたいと望んでいま
したが、時々意地悪なことを
言ったりして自分をコン
トロールできないことに
立つことができました。

高校卒業後、ミッシヨンス
クールの短大に進学したわた
しは、友人の誘いで教会に行
くようになっていたのです
が、ある日曜日の朝、教会学
校の分級で中学生を前にし
て、藤田みち先生が「あなた
方は自分の罪を自分で消すこ
とはできません。でも、イエ
ス様は間違った答えを消しゴ
ムで消すように、消してくだ
さるのです。」

中学生の後ろで話を聞
いていたわたしは、「そうな
んだ。自分で消せなくても良
いんだ。イエス様が消してく
ださるんだ。」とすごく安心
しました。50年前も前のこと

です。

玉名教会に、まだ婦人会が
なかった頃、約40年前のこと
ですが、わたしは主人の仕事
の関係でルーテル学院高校
(熊本市中央区)内に住んで
いました。当時、学院の奥に
は宣教師住宅があり、エリザ
ベス・ハドル先生が住んでお
られました。そこでは月1
回、ルデア会という室園教会
のおもに働く(有職)婦人た
ちの婦人会が開かれており、
わたしも出席させてもらって
いました。

ある夜、会の終わりにお世
話係の甲斐さんがお祈りされ
ました。そのお祈りを聞いた
時、わたしは本当にビックリ
しました。全く見ず知らずの
遠い国の困難な状況にある女
性たちのために祈りをささ
げ献金をささげるということ
に。婦人会って何かすごい！
イエス様に出会った姉妹た
ちが集まって共にイエス様の
御名によってお祈りをささげ
る——この姿こそ「平和」で
あり奇蹟だと思います。

祈り

喜びの地

食べものにこと欠く人を満たし
暴力には静かな態度でのぞみ

見捨てられ、恐れをいただくものに
笑顔をもたらし
希望を抱くことのできない人を
愛情でつつみ

戦争をなくし
世界中の人々が手と手を
結ぶよう

神さまはわたしたちと
ともにいてくださる

神さまは地球を喜びの地とするために
来てくださった

アルベール・アリ
シャルル・シンガー

わたくしがわたくしでいられる

唐津教会
岡 理永

キリスト教とも教会ともご縁のなかったわたくしが、今ここにいるのは、隣接するルーテル幼稚園（現唐津ルーテルこども園）に短大の実習でお世話になったことがきっかけでした。翌年から勤め始め、聖書や讃美歌、お祈りにふれる生活が始まりました。教会で結婚式を挙げていただき、受洗し、母になり、わたくしだけだった教会とのつながりが息子たちにも広がっていることに安心感と喜びを感じています。

職場（こども園）＝教会で、

わたくしにとって
教会は

毎日足を運ぶところ。わたくしがわたくしでいられる所。いい時もそうでない時も、全てご存知の神さまが、そして温かくわたくしを迎え入れてくださる兄弟姉妹がいっぱいやる所が教会です。

コロナ禍のなかで、礼拝ができない状況になりました。ようやく元に戻ろうとしている今、週に1回、教会で皆さんと顔を合わせるこの安心感を改めて感じています。

こんなわたくしでも許され、招かれたことに感謝して、わたくしにできることを、と思っています。主にありて



心の拠り所

大江教会
佐藤 洋子

でした。当時我が家は村の駐在所、先生は熊本から来られた新任の先生でした。わたくしや友人たち、皆で先生の下宿に遊びに行き、そこで、先生は実に分かり易くキリスト教について教えて下さるのでした。時には皆で讃美歌を合唱することも。幼い心に先生の教えは、乾いた大地に染み込む天の滴のように、心に沁みていきました。

わたくしにとっての教会、それはズバリ、心の拠り所です。いつも、温かい皆さまの心が集まっています。寒い時も暑い時もその暖かさに心がほっこりとします。

わたくしをこの教会に導いて下さったのは、天草の小学校時代の恩師

長じてルーテル派のドイツ人の夫と出会い、結婚式と同時に受洗しました。ほどなくして日本に帰り、残念なことに離婚しましたが、神のご加護、皆さまのお力を頂いて子どもたちは成人、わたくしは孫の面倒をみるおばあちゃん、教会に行くのが楽しみです。教会はわたくしにとって心の拠り所、昔も今も、これから

成長させてくださったことに感謝を込めて

春の全国 TEENS キャンプ

あたり前じゃない

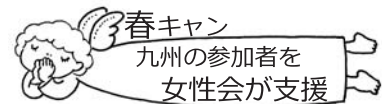
大江教会 椎葉ちはる

わたしは子どもキャンプ（小学5・6年対象）からティーンズキャンプまで一度も休まず参加させていただきました。今回初めて中止を経験して、とても寂しかったし、毎回行けていることはあたり前ではないんだと痛感しました。

わたしの中で春キャンはとても大きくて、かけがえのない存在です。1年に3日しか会えないのに、学校の友人よりも仲良い友だちができます。やはりそれは神様のことを愛し、勉強しているという共通のものがあるからだと思うし、神様がわたしたちを導いてくださっているからだと思います。たった3日の中に濃い思い出が溢れています。

今年、集まれなかったことは残念ですが、来年会えることを楽しみに受験勉強や学校生活を頑張りたいです。何よりも中止になる直前まで計画・準備をしてくださっていたスタッフの皆さん、本当にありがとうございます。春キャンに関わってくださっている全ての方々に感謝します。

早く「コロナウイルス」が収束するよう、お祈りします。



2020 年の「春の全国ティーンズキャンプ」は、新型コロナウイルス感染拡大を避けるため、中止と決まりました。

楽しみにしていた子どもたち、特に最終学年（高校を卒業する）の子たちの寂しさ、悔しさは一入と思います。今回は、キャンプを通して成長してきたお二人の方に思いを綴ってもらいました。（平山）

わたしたちの神よ、
今こそわたしたちはあなたに感謝し、
輝かしい御名を賛美します。
歴代誌上 29 .. 13

来年はみんなで

神水教会 角本 洸

わたしは今年のティーンズキャンプの中止の報告を受けて、残念な思いでいっぱいでした。

ティーンズキャンプには中学生から高校生が参加します。レクリエーションを交えながら、聖書の言葉を学ぶことができます。歳が近いと意見を交わしやすく、毎年得るものがとても大きいです。

このような世の中で、全国の青年会活動の皆さんとオンラインで祈り、讃美をして交流するという会がありました。その会に家族で参加しました。この時に、わたしは大きな喜びを感じました。

来年は「コロナ」が終息して、多くの人と会って、楽しく充実したキャンプに参加したいです。

写真は 2018 年のキャンプ



■一日も早い「コロナ」の終息を願い、祈ります。まだまだ、油断はなりません。心して一日、一日を過ごしてまいりましょう。

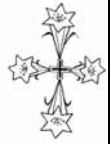
R・O

■皆さま、お元気でしょうか？無事に「みちしるべ」107号をお届けすることができて、ホッとしています。

■教区女性会役員会もコロナ禍にあつて、ラインやメール、電話などでの作業でした。このような状況にあつても、依頼した全ての皆さまから入稿していただきました。心から嬉しく感謝してお礼申し上げます。今回も皆さまの祈りのこもったステキな「みちしるべ」に仕上がりました。

編集後記

ご召天
井上 雪姉 100歳
(神水)



2020年4月23日

これまでのお交わりを感謝し、ご家族のみなさまのうえに、主のお慰めをお祈りいたします。

九州教区女性会2019年度決算報告・2020年度予算

	科 目	2019年度		2020年度	2019年度	2020年度
		予算	決算	予算	備 考	備 考
収 入	1 教区会費@1200	360,000	354,000	360,000	@1200 × 295名	@1200 × 300名
	2 みちしるべ購読@200	18,600	21,600	16,400	@200 × 108名	@200 × 82名
	3 感謝献金	150,000	220,200	150,000	2019年度感謝献金 147,200円 筑後地区より 30,000円 筑後地区平和礼拝席上献金を 教区女性会の働きのために 43,000円	
	4 席上献金	50,000	91,113	50,000	総会、会長会、他	総会、会長会、他
	5 預金利子	4	3	4		
	6 雑収入	-	-	84		
	7 前年度繰越金	334,706	334,706	288,112		
	合 計	913,310	1,021,622	864,600		
支 出	8 役員会費	40,000	40,880	50,000	会場費、交通費、 会計監査費、他	会場費、交通費、 会計監査費、他
	9 会長、役員活動費	60,000	57,070	100,000	常議員会陪席 各地区教会、集会・訪問	教区総会出席、常議員会陪席 各地区教会、集会・訪問
	10 通信費	30,000	7,090	20,000	会費請求依頼書、役員会 議事録、ひびき、他発送	会費請求依頼書、役員会 議事録、ひびき、他発送
	11 事務消耗費	10,000	12,816	20,000	封筒、印刷、事務用品、他	封筒、印刷、事務用品、他
	12 みちしるべ印刷、発行	160,000	136,504	160,000		
	13 集会費	150,000	89,137	150,000	会長会、熊本地区と合同 秋の集い、他	
	14 慶弔費	20,000	5,900	10,000	慈愛園創立百周年お祝 5,000円、お悔みカード代	
	15 支援費	200,000	200,000	200,000	ルーテルこどもキャンプ、 春キャン、 中高生キャンプ、 九州教区JELCY 4件各50,000円	ルーテルこどもキャンプ、 春キャン、 中高生キャンプ、 九州教区JELCY 4件各50,000円
	16 指定献金	50,000	134,113	50,000	「共に生きる」63,000円 阿蘇山荘増建を願い28,113円 筑後地区平和礼拝席上献金を 教区女性会の働きのために感謝献金 を頂く。筑後地区にご了解頂き 43,000円。ヘンシャール会の働き のためにお預けしました。	
	17 連盟総会旅費補助積立	50,000	50,000	50,000		
	18 予備費	143,310		54,600		
	19 次年度繰越	-	288,112	-		
	合 計	913,310	1,021,622	864,600		

2019年12月末各通帳残高・2020年繰越

一般会計	288,112
連盟総会旅費補助積立金	333,456
シルバープロジェクト基金	996,949

2020年1月13日、監査・乙守アヤ子姉、淵崎ヨシエ姉より会計監査を受け承認頂きました。
2月27日、役員会にて2020年度予算が承認されました。
感謝してご報告申し上げます。 教区会計 岩崎良子

九州教区女性会・熊本地区女性会合同 秋の集い

講師 安井元一氏

2020年9月26日(土)

13:00 秋の集い

会場 神水教会

社会福祉法人グループ・ラム理事長